

会議顛末書（議事録）

件名	令和7年度第1回中野市地域クラブ活動推進協議会
日時	令和7年6月2日（月） 18:30～20:00
会場	中野市市民会館（ソソラホール） 小ホール
出席者	（委員） 唐木敏行（会長）、中山重光（副会長）、酒井雄高、阿藤博之、中村幹夫、小林光典、宮澤 務、川上康樹、角田 晃、塩川咲輝（代理：松澤清市）、田近佳代子、松澤達弥、清水よしみ、西澤美栄子 （計14名、敬称略） （中野市） 秋元くらしと文化部長、丸山教育次長、荒井文化スポーツ振興課長、小橋学校教育課長、湯本スポーツ振興係長、高木文化振興係長、阿藤スポーツ振興係、富田生涯学習推進係長、戸島学校教育係長、高木副主幹、和田指導主事 （計11名）
資料	別添のとおり
主な内容	
進行；小橋学校教育課長 1 開会のことば（小橋学校教育課長） 18:30 2 あいさつ （丸山教育次長） 3 本協議会の目的・要領について（事務局） （別紙1 「中野市地域クラブ活動推進協議会要領」にて確認） 4 会長、副会長の選出 ○事務局案を提案し、委員の承認を受け以下の方に決定。 会 長；唐木敏行委員（中野市部活動改革推進委員 高社中学校校長） 副会長；中山重光委員（中野市柔道スポーツ少年団 代表） 5 委員の確認 （唐木会長） ○設置要領の第3条の（6）により、今年度の協議会委員に中学校の吹奏楽・合唱に関わる先生の代表者を追加したい。 委員の了解が得られ、南宮中・中野平中・高社中の吹奏楽部顧問の先生が委員に追加される。 6 協議 （座長は会長） 18:40 （1）令和7年度の推進予定について （和田指導主事） （2）中野市の中学校部活動及び地域クラブ活動の状況について （和田指導主事）	

- ・資料１；推進目標と協議会の計画を中心に説明。
- ・資料２；令和８年度末で部活動が終了し、ラインボックス内のような地域のクラブ活動へ移行することを説明。現中学校１年生徒及び保護者には説明済み。
- ・資料３；５月９日現在での部活動や地域クラブへの参加状況を説明。

（３）地域クラブ活動実施にあたる確認事項、支援内容等

- ・資料４；地域クラブに参加する生徒を、学校から練習会場までスクールバスにて移送する実証事業について説明。また、指導者への研修会を８月２９日に計画。（高木副主幹）
- ・資料５；昨年度の意見交換内容や検討事項を説明。令和７年度の方角について、現状とそれぞれの部の方向性を説明。（和田指導主事）
- ・資料６；現在、校長会と教育委員会で検討している内容。平日のみ実施の部活動では、放課後に学校で実施できる地域クラブを検討中。そのための課題や指導者への謝礼、会費等の考え方を説明。（和田指導主事）

○質疑 （意見や要望を出していただき、この後の意見交換の話題にさせていただく。）

- ・近隣では、小布施町や飯綱町が今年度から地域移行していると聞く。先進の状況を聞き、いいとこどりで進めていきたい。
- ・保護者の方の意見として、指導者を自分たちで決めることや責任・運営等での不安が大きい。
- ・行政が運営主体の場合、様々な問題が生じてでも解決が早いと思われる。責任の所在があいまいなままでは、指導者の受け手がなくなる心配がある。
- ・謝礼について、校内クラブの案として１回１,０００円とされているが、安すぎるのではないか。
- ・山ノ内町でも吹奏楽部の地域移行は困っていると聞く。中野市では、他市町村との連携をどう考えているのか。

（４）意見交換 （１９：１３～１９：５２）

※以下の３グループに分かれ意見交換（３０分間）したあと、各３分程度で発表。

A) 地域のスポーツ関係 （新たな地域クラブの位置づけ、クラブの継続・充実のために等）

○新たなクラブの位置づけ

- ・すでにあるクラブと同様な扱いにする。
- ・差別化を図る必要はない。
- ・一つの案として、「スポーツ少年団へ加入」「体協に登録」のような形が考えられる。

○継続・充実のために

- ・指導者が大事になるだろう。
- ・クラブを運営する保護者がいるかどうか。指導者を探すことも困難であるが、継続していくには、運営（事務局）を務める人を探すことが大事。
- ・運営事務局を探す（つくる）場合は、保護者負担、金銭的負担も大きい。

B) 吹奏楽・合唱関係（活動拠点、活動内容、送迎・楽器保管、組織、地域指導者、推進予定等）

○指導者に関わって

- ・部活動の外部指導をお願いしている方が複数いるが、運営の主体まで担うことは不安だと話している。指導者一人で運営するのは難しい。バックアップ体制が必要。
- ・謝金については、専門性も加味してある程度の額が必要か。
- ・事務局をどうするか。

○クラブの目標や方向性

- ・コンクールやアンサンブルコンテストを目指す団体と音楽を楽しむ団体では、指導方法や活動日数も変わる。
- ・R 8年度の夏まではコンクールを目指して活動している。現1年生が2年の夏に「これが最後のコンクール」と納得し、音楽を楽しむ団体へ移行することができるかはわからない。また、地域の発表会で満足できるかもわからない。生徒・保護者とよく話をしていくことが必要。
- ・楽しみを増やす目的（コンクール不参加）でクラブ化するなら、スムーズに移行できると思う。
- ・吹奏楽では、R 7年度秋から合同で練習できるといいが、部活動でやっているとコンクール・アンサンブルに向けた練習が中心となり難しいか。R 8年度の秋から休日は外部指導者に指導をお願いし、教員はサポート役になりたい。8年度中の平日は各学校で活動することになるか。
- ・R 8年度秋以降のコンクールについて見通しがはっきりしない。他市町村の動きも見たい。

○活動場所

- ・吹奏楽部では、送迎のことを考えると、中央公民館での活動が一番良い。休日の練習会場に3階講堂を利用できないか。大きい楽器の保管場所が必要となるが大丈夫か。
- ・学校の体育館は、冷暖房がないので練習場所としては適さない。
- ・実際に活動してみて、課題を検討していくようにしたい。
- ・合唱部は中央公民館を使用する方向で進めたい。中央公民館で活動している他の音楽団体とのつながりが期待できる。

○その他

- ・合唱では、他のサークルと一緒に市民音楽祭へ参加する等も考えられる。

C) 保護者、学校関係（地域クラブ化の課題、保護者の要望、【仮称】校内クラブ活動等）

○地域への移行に関わって

- ・保護者や子どもにとっては、これまで活動していたものを引き続きできる体制がよい。R 8で終了という期間ありきでなく、体制を整えてから移行に進んでほしい。
- ・子どもたち自身で活動を決める際、活動場所が遠いと見学しにくく、活動開始へのハードルが高い。
- ・移行後のイメージができるように、先進地の事例を知りたい。

- ・中野平中では、R 7 年度の新人戦の後から、保護者会による活動を進めていく。ただし、顧問も相談に乗る。

○指導者、運営

- ・移行したクラブが保護者（会）の責任で運営することはよくない。トップは、行政、体協やスポーツクラブで行うべき。
- ・指導者とくに教職員が審判員資格等を取得するには、時間と費用負担が大きすぎる。市のサポートがほしい。

○【仮称】校内クラブ活動

- ・美術部などは、部活動として実施していたからニーズがあった。校内クラブになった場合、保護者の負担が増えるので、加入しないのではないか。
- ・教員が指導者となる場合、一部の教員だけが負担が増えることになりかねない。

7 諸連絡 19:53

(1) 次回の予定 (事務局)

○次回は、10 月の開催を予定。地域・保護者の方への周知ができるような形の会を検討中。
開始時刻は今回と同様で、期日・会場については早めに連絡する。

(2) 全体を通しての意見要望 (19:54)

- ・部活動と違い、保護者の負担（金銭、送迎、保護者会等）が増える。金銭負担が大きいため、（お金がなくて）参加できない子が出ることがないように支援することは必要と思う。

8 あいさつ (秋元くらしと文化部長)

9 閉会のことば (学校教育課長) 19:59